

＜地域の宝磨き上げ事業関係資料＞

資料 1 【大竹邸】平成27年度事業実施状況について（中間報告）

資料 2 【大竹邸】平成27年度事業計画書 ①

資料 3 【大竹邸】平成27年度事業計画書 ②

資料 4 【大凧】平成27年度事業実施状況について（中間報告）

資料 5 【大凧】平成27年度事業計画書

資料 6 【大凧】平成28年度事業計画（素案）について

○平成27年度事業実施状況の中間報告について

1 事業名	大竹邸記念館室の磨き上げ事業	
2 事業主体	中之島観光ガイドの会	中之島観光協会
3 予算	補助金40万円	補助金50万円
4 事業計画	資料2「事業計画書」のとおり	資料3「事業計画書」のとおり
5 実施状況	桜の開花時期に合わせ、庭園のライトアップを行った。	地域のまつりに合わせ、庭園にステージを設置し、中学生や芸能協会所属団体による演奏等の発表を行った。また、大竹家関連資料を活用した読み解き講座を開催予定。
6 主な実施日	4月16日(木)～20日(月)	8月22日(土)、3月予定
7 効果	ライトアップをきっかけとして、地元の人が多く来館し、地域の宝として再認識いただくことが出来た。	ステージイベントを開催することで、普段来館する機会がない人の来館動機となった。また、中学生は、発表の場である大竹邸について理解を深めた。

臨時開館日の設置

対応：中之島観光ガイドの会に依頼

目的：開館日を増やすことで来館機会を増加させ、一人でも多くの方から来館していただく。

通常開館

<ul style="list-style-type: none"> ・第1金曜日 ・第2日曜日 ・第3金曜日
--

年間35日程度開館

臨時開館あり

<ul style="list-style-type: none"> ・第1金曜日 ・第2日曜日 ・第3金曜日 ・第4日曜日 ・各種イベント時
--

年間59日程度開館

※各種イベント

桜ライトアップ、大風合戦、与茂七地藏祭典、生涯学習フェスティバル

来館者数の推移(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成24年度	44	51	30	57	351	20	81	167	5	4	10	33	853
平成25年度	20	25	64	73	492	24	10	0	0	0	2	12	722
平成26年度	34	69	104	97	712	22	122	98	30	2	23	54	1,367
平成27年度	213	42	197	113	505	27	61						
うち臨時開館	123	6	120	2	5	4	3						

○平成28年度事業内容(案)

平成27年度と同程度の内容で実施主体と協議したい。

事業計画書 ①

事業名	大竹邸記念館宝の磨き上げ事業
事業実施の目的	郷土が生んだ偉大な政治家大竹貫一の生家である、「大竹邸記念館」を地域全体の誇りとなるよう、地域の宝として磨き上げ、中之島地域を代表する観光施設として市内外へ情報発信していく。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大竹邸記念館庭園桜のライトアップ <p>庭園にある桜を開花に合わせてライトアップを4月16日(木)から21日(火)の間行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来館者へのおもてなし <p>上記桜のライトアップや地元の祭りに合わせた臨時開館の際に、地元中学生と協力し、お茶と茶菓子で接待する。</p>
事業実施までのスケジュール	<p>平成27年</p> <p>4月2日(木) 桜ライトアップチラシを中之島地域全戸配布</p> <p>4月16日(木) 会場設営</p> <p>4月16日(木)～20日(月) 事業実施</p>
子どもたちへの継承及びプロモーション効果	<p>ライトアップされた桜の見物や中学生が関係するイベントを来館のきっかけとして、地域の偉人「大竹貫一」への理解を深め、大竹邸記念館を地域の宝として認識するとともに、中之島地域を代表する観光施設として市内外へ情報発信し、来場者数増加に繋げる。</p>

※ 事業の内容は、詳細に記載してください。(別紙も可)

事業計画書 ②

事業名	大竹邸記念館PR事業
事業実施の目的	・年間を通じて大竹邸記念館への誘客を図るための、自由に出入りできる庭園内の散策路整備や地元地区の灯笼押合いまつりとタイアップした記念館PRイベント及び所蔵史料を活用した読み解き講座の開催など、施設並びに所蔵品の公開展示を行い、更なる観光客の増加と地域の活性化を図る。
事業内容	・毎年開催している地元地区の灯笼押合いまつりとタイアップし、大竹邸記念館特別開館や庭園にステージを設置し、来場者に中学校生徒を中心としたお茶を点ててのおもてなしや箏演奏、芸能協会所属団体による踊り等の披露の他、来場者が安全に庭園などの散策を行うことが出来るように整備を行う。また、大竹家関連の興味深い資料も見つかっている事から、それら関連資料を活用した読み解き講座を開催し、大竹邸記念館が地域住民にとって身近な心のよりどころ的存在となるような環境づくりを行う。
事業実施までのスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月1日（土）～31日（月）大竹邸記念館幟旗設置 ・ 8月20日（木）～26日（水）大竹邸記念館特別開館 ・ 8月22日（土）大竹邸記念館PR事業ステージイベント ・ 10月中旬、3月中旬 大竹邸記念館史料読み解き講座
子どもたちへの継承及びプロモーション効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中之島中学校茶道・箏部生徒による日頃の部活動の成果を広く地域内外の市民にアピールすることが出来、目標にもなっている事から今後も継続したイベント開催に繋がる。 ・ 大竹貫一翁の精神は、小・中学校の児童生徒に感動を与え、そしてそれら記念館にある史料を読み解くことにより、貫一翁が何を考え、何を行おうとしたか、記念館を訪れた子供たちが年を重ねていくごとに、生きた教材として学ぶことが出来る。

※ 事業の内容は、詳細に記載してください。(別紙も可)

平成 27 年度事業実施状況について（中間報告）

- 1 事業名 : 今町・中之島大凧合戦宝の磨き上げ事業
- 2 事業主体 : 中之島大凧磨き上げ実行委員会（凧組経験者を中心に組織）
- 3 予算 : 地域の宝磨き上げ事業補助金 140万円
- 4 事業計画 : 資料5「事業計画書」のとおり
- 5 実施状況（中間報告）

（1）事業実施体制等の検討、中之島大凧磨き上げ実行委員会の開催

- 第1回中之島大凧磨き上げ実行委員会
日時：平成27年7月7日（火曜日）午後6時30分～
場所：中之島支所3階 第1会議室
参席者：中之島大凧磨き上げ実行委員
内容：中之島大凧磨き上げ実行委員会（地域の宝磨き上げ事業）について、今後の活動、方向性等についての意見交換
- 地域の宝（大凧）磨き上げ事業に係わる懇談会
日時：平成27年7月23日（木曜日）午後7時30分～
場所：中之島支所3階 第1会議室
参席者：中之島大凧磨き上げ実行委員、中之島凧組合（会長、各組組長）
内容：今後の活動、方向性についての意見交換
- 第2回中之島大凧磨き上げ実行委員会
日時：平成27年11月5日（木曜日）午後7時30分～
場所：中之島支所3階 女子休憩室
参席者：中之島大凧磨き上げ実行委員（※地域委員会選出委員は初参加）、中之島凧組合（会長、各組組長）
内容：中之島各地区の大凧作成について、平成28年度事業について 等

（2）地域内全域が関われる大凧の作成

- 平成27年度は白凧の購入のみ

(3) 中之島中学校の大凧体験

●中之島中学校1年生による地絡め体験

◇事前練習◇

日 時：平成27年5月26日（火曜日）午後1時45分～午後3時
場 所：中学校グラウンド

参加者：中学1学年（生徒約100人、教員5人、校長先生）、中之島凧組合13人
内 容：凧組による地絡め指導

◇合戦本番◇

日 時：平成27年6月8日（月曜日）午後1時～午後2時30分
場 所：大凧合戦会場

参加者：中学1学年（生徒約100人、教員6人）、中之島凧組合
内 容：左岸と右岸に分かれ、地絡め1戦を体験。また、地絡め終了後には猫興野橋下流側で、中学生が事前に作ったビニール凧を揚げていた。

●中之島中学校運動会応援パネル用の大凧の作成、展示

◇白凧3枚の配布 平成27年7月15日

◇大凧の絵付け 9月5日の運動会に向け、中学生が学校で絵付け

◇大凧の展示

展示日：平成27年9月5日（土曜日）中之島中学校運動会
場 所：中学校グラウンド

●中之島中学校3年生による大凧揚げ体験

日 時：平成27年10月20日（火曜日）午後1時45分～午後3時55分
場 所：中学校グラウンド、中学校体育館（柔剣道場）

参加者：中学3学年（生徒約100人、教員5人、校長先生）、
中之島凧組合18人、中之島大凧磨き上げ実行委員6人

内 容：運動会用に作成した大凧を使い、凧組の指導のもと、大凧揚げや大凧の組み方を体験

(4) 大凧合戦市民観覧席設置

設置日時：平成27年6月6日（土）～8日（月）午後0時30分～午後5時

設置場所：猫興野橋上流左岸堤防

利用者数：約280名（前年ほぼ同数）

内 容：大凧合戦期間中、会場内に無料の市民観覧席を設置

平成 27 年 度 事 業 計 画 書

事 業 名	今町・中之島大凧合戦宝の磨き上げ事業
事業実施の目的	<p>見附市今町・長岡市中之島の伝統行事である「今町・中之島大凧合戦」の更なる発展及び次世代への伝承を図るもの。</p> <p>大凧合戦の活動団体である中之島凧組合を支援する体制を整えながら、地域全体が伝統行事に関われる環境づくりを進めるとともに、地域内外への更なる情報発信を図る。地域全体で大凧合戦を盛り上げることで、地域の宝としての誇りを高め、後継者の育成に繋げる。</p>
事業内容	<p>○大凧合戦PR支援体制(凧組経験者を中心としたPR支援体制)の検討及び目的達成に向けた次年度以降の取り組みの検討(検討会の開催)</p> <p>○地域内全域(8連合町内単位)が関われる大凧の作成</p> <p>○中之島中学校の大凧体験(地絡め体験、運動会での大凧展示、大凧揚げ体験)</p> <p>○大凧合戦会場への市民観覧席の設置</p>
事業実施までのスケジュール	<p>5月～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施体制等の検討 <p>6月(大凧合戦期間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民観覧席設置 ・中之島中学校1年生による地絡め体験 <p>7月～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大凧合戦PR支援体制の検討等(検討会の開催) ・中之島中学校へ白凧配布、絵付け <p>8月～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域全域で関われる大凧の作成に向けた検討 <p>9月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中之島中学校運動会での大凧展示 <p>10月～11月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中之島中学校3年生による大凧揚げ体験 <p>年度内(随時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中之島大凧磨き上げ実行委員会の開催
子どもたちへの継承及びプロモーション効果	<ul style="list-style-type: none"> ・中之島中学校での大凧体験等により子どもたちが大凧に触れる機会をつくることで、子どもたちの地元の伝統行事に対する理解を深め、伝承意識を高めることが期待できる。 ・中之島地域全域の住民が伝統行事をより身近に感じることができる環境を整えることで、住民の大凧合戦に対する興味関心を高め、地域の宝として再認識し、地域全体で伝承に向けた取り組みを考えるきっかけとすることが期待できる。 ・凧組経験者を中心とした大凧合戦のPR支援体制を整えることで、地域内外に向けたより積極的なPR活動に取り組めることが期待できる。

平成28年度事業計画（素案）について

平成28年度事業内容

- ★継続 (1) 中之島全域が関われる大凧の作成
継続 (2) 中之島中学校の大凧体験
 (中1地絡め体験、運動会応援用の大凧作成及び展示、中3大凧揚げ体験)
継続 (3) 大凧合戦市民観覧席の設置
継続 (4) 中之島大凧磨き上げ実行委員会の開催

★【中之島全域が関われる大凧の作成について】

1 各地区への意向調査結果について

- 各地区の大凧作成について、地域の皆さんの意向を聴取するため、8月28日（金）開催の中之島地域委員会第1回分科会（合同）においてアンケートを配布。各連合町内会長へ意向の取りまとめを依頼した。

■結 果

設 問	回 答
大凧を作成（絵付け）するとしたら、どのようにしたいか？	<input type="radio"/> 自分たちで絵付けをしたい（凧組経験者等の指導を受けながら） ⇒ <u>中之島、三沼、中野※、西所※（※子供会で）</u> <input type="radio"/> 自分たちだけで絵付けをしたい ⇒なし <input type="radio"/> 凧組から絵付けをしてもらいたい ⇒ <u>中通、信条</u> <input type="radio"/> 現在検討中 ⇒ <u>上通、中条</u>
大凧の作成（絵付け）の取り組み方について	<input type="radio"/> 8地区全てで取り組むほうがいい ⇒ <u>中之島、信条、三沼</u> <input type="radio"/> 対象地区を絞って取り組むほうがいい ⇒なし <input type="radio"/> 連合町内会単位以外で取り組むほうがいい ⇒なし
大凧合戦を「中之島地域全体の宝」として活性化させるために、各地域で取り組みそうなことは？また、どんな事をしてみたいか？	<信条地区> ・ <u>信条小にはまだ話しをしていないが、期間を決めて信条小に大凧を展示して、子どもに大きさ、絵などを見て欲しい。</u>

2 中之島大凧磨き上げ実行委員会（11月5日開催）での検討概要について

（1）意向調査結果について

- 具体的意見等があまり見られないため、地域の宝としての取り組み姿勢（本気度）に疑問もあるが、回答がないところは、わからず答えようがないところもあると思う。裏を返せば、大凧が各地区の人には浸透していない現状がみえた。温度差があるのは確かだ。
- 信条地区も本当は子供会などに絵付けをしてもらいたいが、信条地区は今まで全然凧に関わる機会がなかった。まずは子供達に大凧の大きさ等を実際に見て感じてもらうなど、取り組みそうなところからやろうと思った。
⇒ 後日、大倉委員が信条小に直接相談に行き、快諾を得た。今後、展示時期や場所などの詳細について話を進める予定。

（2）大凧の作成について（提案）

- 各地区の意向結果、また、簡単に絵付けといっても、様々な部分でもっと話し合いや態勢を整える必要があること（例えば、場所の確保…絵付けして乾かす場所も必要）等を考えると、来年8地区全てで取り組むのは難しいのではないか（例えば、学区単位や本当にやりたい地区をいくつか絞って行ってはどうか）。
- 皆でやろうという意識があるのであれば、全て凧組からやってもらおうではなく、教えてもらいながらやる方向で進めて欲しい。
- いきなり大凧に絵を描くのは難しい。手形を押したり、マジックで描いたりする方法は、比較的取り組みやすいと思う。

3 協議事項（上記2（2）の提案を受け、本日の地域委員会で協議をお願いしたい事）

（1）平成28年度の大凧作成の取り組みについて

- ・ 平成28年度の大凧作成の取り組みはどうか？
- ・ 平成29年度以降の取り組みについては？

（2）大凧の作成内容について

- ・ 手形を押したり、子供達の将来の夢をマジックで描いたりする方法などはどうか？

（3）その他の意見